

集落営農を進めて行きたい…町長



厳しい経営状態が続く広野町の農業（下北迫地内）

農業を取巻く環境が非常に厳しい中、平成19年度から品目横断的経営安定対策が施行されます。これは、経営面積4ヘクタール以上の個人と20ヘクタール以上の法人を国で保護するものですが、それに満たない農業経営については切り捨てるものです。農地を担い手に集約するためのものですが、広野町については地形的にもこの条件に合致させることは難しいと思います。農業は、産業以外にも情操教育や環境保護など、非常に重要な役割を担ってきていると思います。その農業を町として、今後どのように守り、育てて行くのか、基本的な考えを伺います。

答 山田町長

本町の農業は、農家1戸あたりの経営耕地面積が、約60アールと零細であり、第1次産業より第2次、第3次産業へと就業構造が移行しています。

特に最近の農業情勢は、従来の生産構造から大きく変ぼうし、極めて厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、高齢化や農業離れによる農用地の利用および管理の低下が懸念される本町農業の活性化をはかるため、集落営農による農用地利用改善団体の設立を目指し、地域での話し合いを進めて行きたいと考えています。

今後は、国、県の指導を得て、農業委員会、農協と町が一体となり、本町農業の振興に努めたいと考えています。



新妻 良平 議員

## どのような少子化対策を講じて行くのか

助成制度を充実させて負担を軽減したい…町長

少子化対策は、最も力を注がなければならない事業であり、将来の町の根幹を左右するものですが、平成19年度予算の編成にあたり、どのような施策を講じるのか伺います。

答 山田町長

19年度は、乳幼児に対する医療費の一部負担金の無料化年齢の引き上げや、国保以外の保険加入者の乳幼児および児童にかかる医療費の窓口無料化のほか、妊婦健診や妊産婦に対する助成制度等の充実など、負担の軽減をはかり、「より産みやすい環境」の整備に努めたいと考えています。



おいしいおもちができるかな（保健センター）

## 商店活性化の取り組みを

交流人口の拡大に努めたい…町長

駅前商店ならびに商工会加盟店等は、年々売り上げが落ち込むとともに、経営もかなり厳しくなっているのが現状です。

それぞれの商店の自助努力はもちろんのこと、町の活性化のためにはいろいろな施策を講じる必要があると思いますが、町の見解を伺います。

答 山田町長

町を訪れる県内外の人達に対し、町のPR等をする場所の確保や本町の各種施設を利用した集客誘致など、観光部門の充実が一つの方策と考えています。

また、地元の方々が、地元商店で買い物をする循環型地域経済についても検討する必要がありますので、今後は、商工会と連携しながら、これらの方策の実現に向け検討して行きたいと考えています。

## 随意契約工事でも競争入札を

適正に執行されている…町長

建設課発注の随意契約工事に競争入札を導入すべきだと思いますが、町の見解を伺います。

答 山田町長

可能なかぎり3社以上の業者を選定して見積書を提出させ、最も有利な条件の相手方と契約しています。



買い物客でにぎわう駅前商店街（暮市）



中津 伸一 議員